

2024年度 第2四半期（中間期）
決算説明会資料



2024年11月12日
三愛オブリ株式会社

本資料に関する注意事項

本資料は、三愛オブリ株式会社（以下、「当社」）が、2024年11月12日開催の決算説明会において使用した資料です。本資料に記載されている情報は、発表日現在の当社が入手している情報に基づいて作成されたものであり、将来の業績を保証するものではありません。

本資料には、当社の経営計画、将来の業績見通しなど、将来の事項に関する記述が含まれています。これらの記述は現時点における当社の判断に基づいて作成しており、実際の業績はさまざまなリスクや不確実性を伴うため、これらの記述とは大きく異なる可能性があります。

また、当社は、本資料に記載された情報に基づいておこなわれたいかなる投資行為についても責任を負いません。投資に関するご決定は、ご自身のご判断においておこなうようお願い申し上げます。

【本資料における表記について】

- 本資料の数値について、経営成績は原則として百万円単位で記載しております。
- 4月から始まる会計年度の表記としており、2025年3月期（2024年4月から2025年3月まで）の会計期間は「2024年度」または「FY2024」と表記しております。

目次

1. 2024年度 第2四半期 決算概要

2. 業績予想と株主還元

3. 本事業年度のトピックス

1. 2024年度 第2四半期 決算概要

決算のポイント

2024年度 第2四半期 経営成績

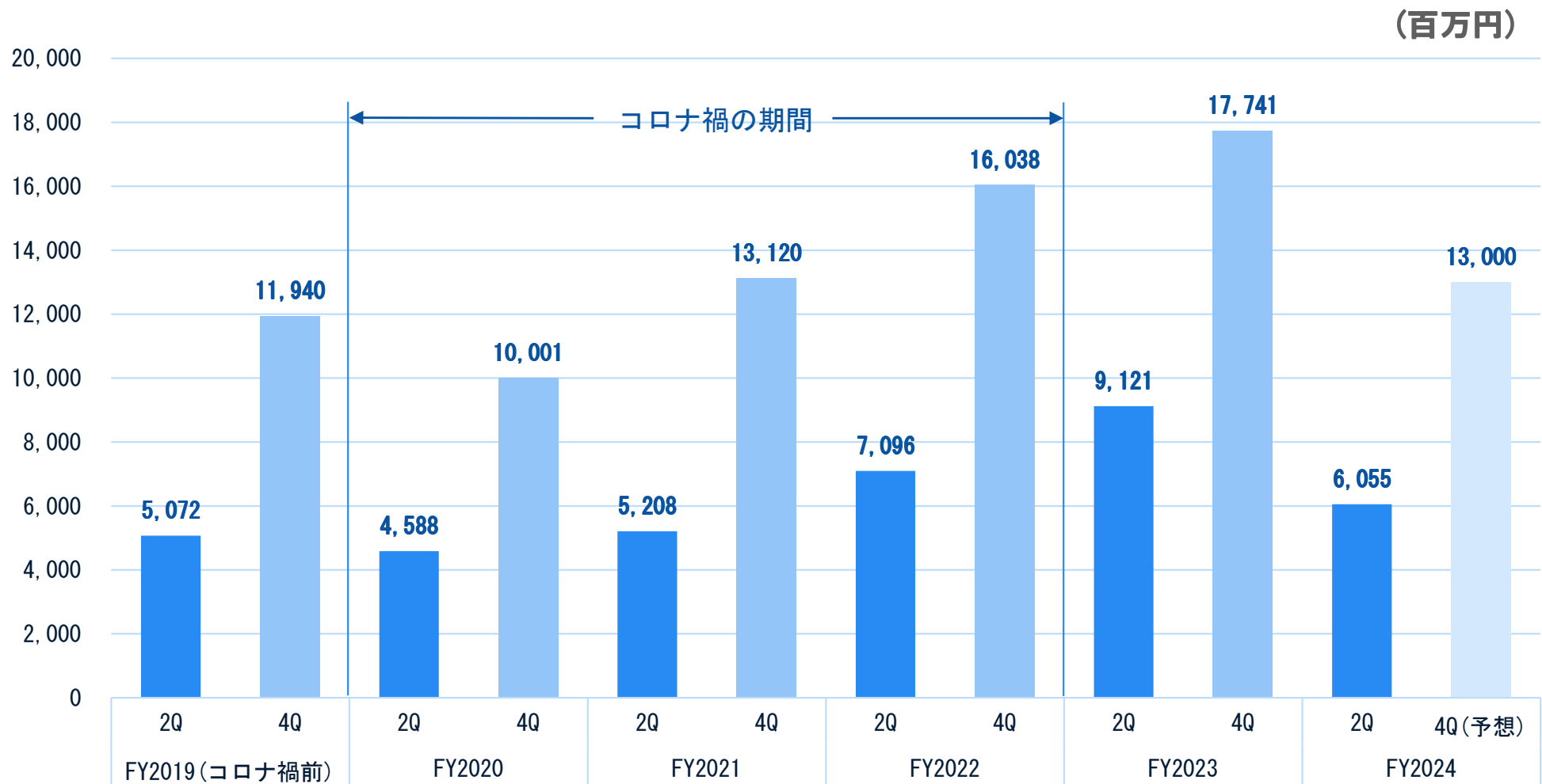
(百万円)

	FY2023 2Q	FY2024 2Q	前年同期比	(参考) FY2024予想	進捗率
売上高	318,066	307,152	-3.4%	650,000	47.3%
営業利益	8,666	5,532	-36.2%	12,500	44.3%
経常利益	9,121	6,055	-33.6%	13,000	46.6%
親会社株主に帰属 する中間純利益	5,640	4,488	-20.4%	9,500	47.2%

- 航空関連事業が羽田空港における燃料取扱手数料の単価改定により減益
- 石油関連事業の販売は堅調に推移したものの、販売費及び一般管理費が増加
- 化学品関連事業・ガス関連事業・その他事業の業績は前年同期に比べて回復
- 投資有価証券の売却に伴い、特別利益として売却益1,434百万円を計上

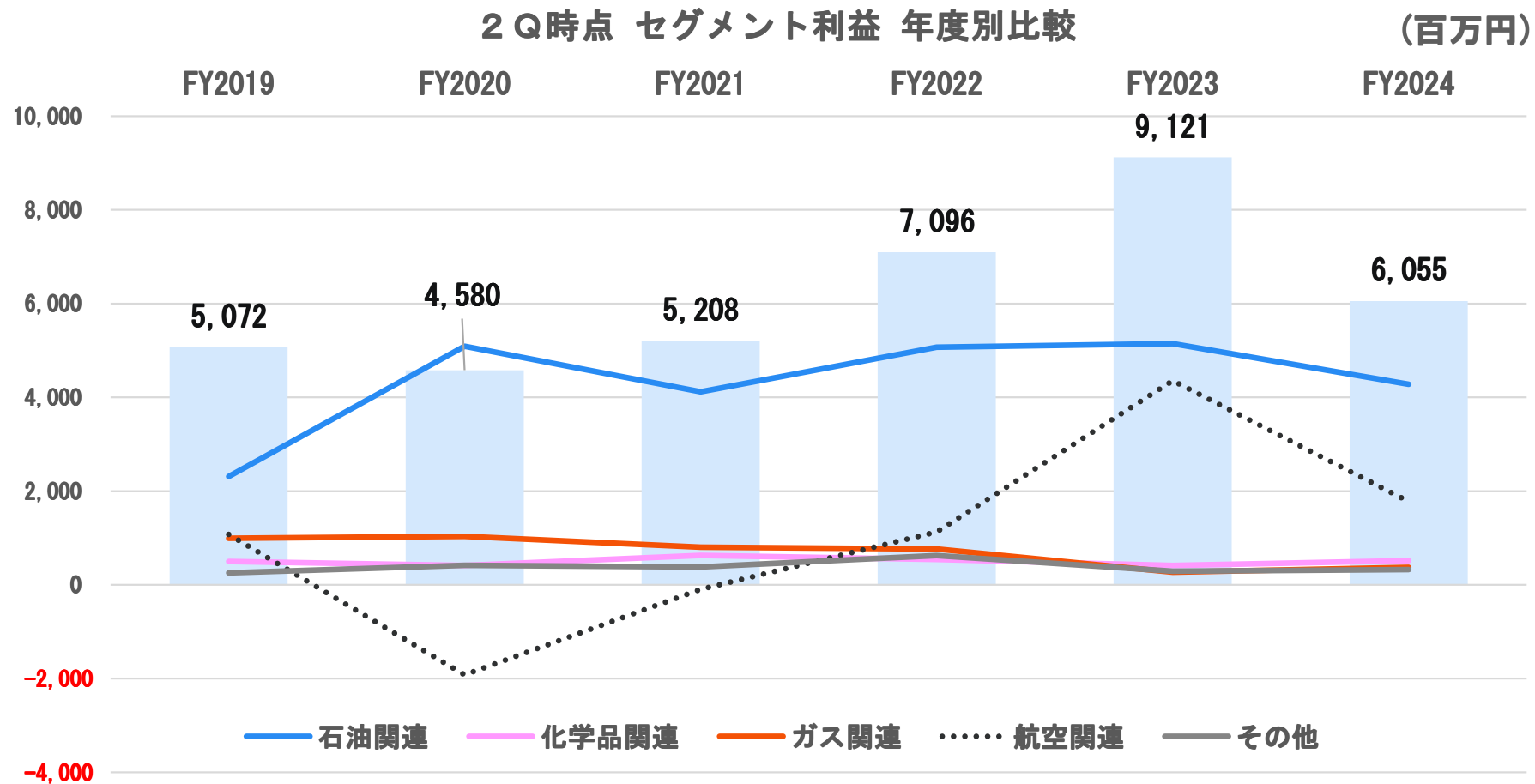
経常利益の推移

2024年度の経常利益は羽田空港における燃料取扱手数料の単価改定によって、2019年度（コロナ禍前）に近い水準となっている。

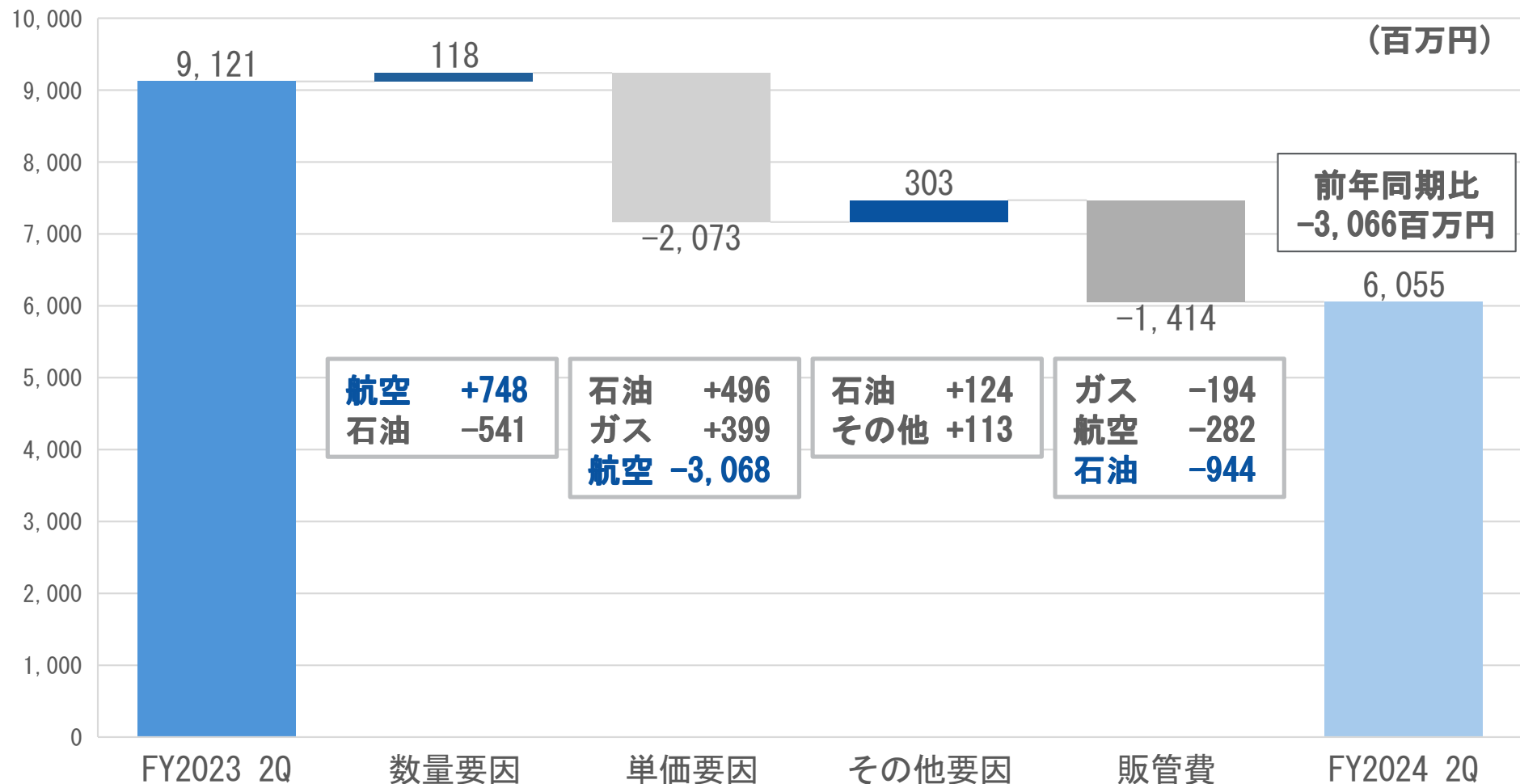


セグメント別 経常利益の推移

2020年度以降、コロナ禍により航空関連事業の利益が大きく変動しているものの、それ以外の業績は底堅く推移している。

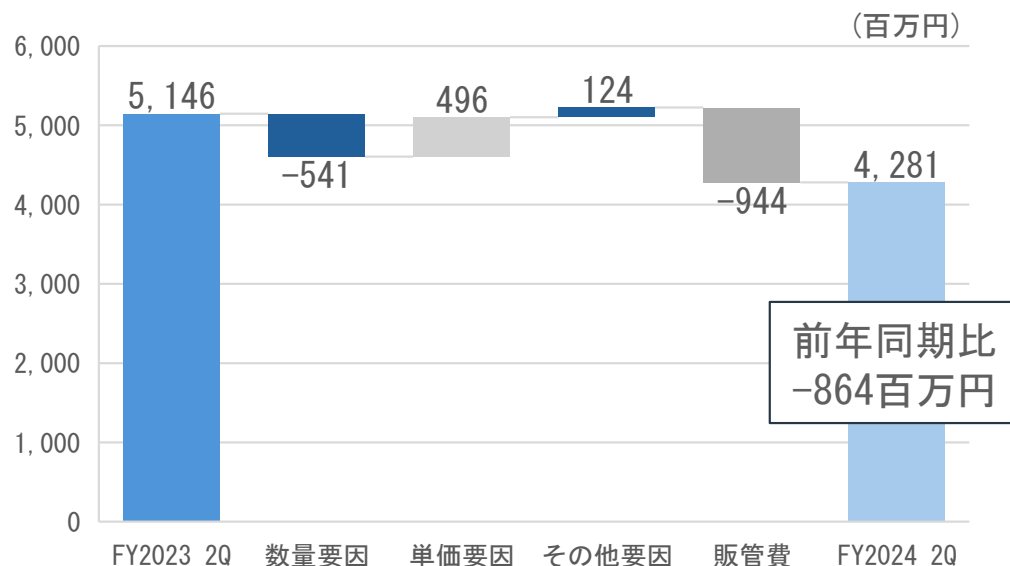


経常利益 前年同期比増減内訳



- 在庫による損益影響は単価要因に含まれる。
- その他要因には航空燃料取扱手数料を除く手数料収入および完成工事高の増減、営業外損益が含まれている。

石油関連事業 経常利益



特約店への卸売や工場向け等の産業用燃料油・潤滑油の販売、SS(サービスステーション)での小売販売を通して全国に石油製品を供給している。

2024年9月30日現在 系列SS 982ヶ所



小売部門 507百万円

数量 直営SSの販売が低調 (-)

単価 利幅縮小 (-)

卸売部門 3,724百万円

単価 利幅改善により増益 (+)

産業用燃料油販売部門 63百万円

数量 価格競争の激化により減少 (-)

産業用潤滑油販売部門 -14百万円

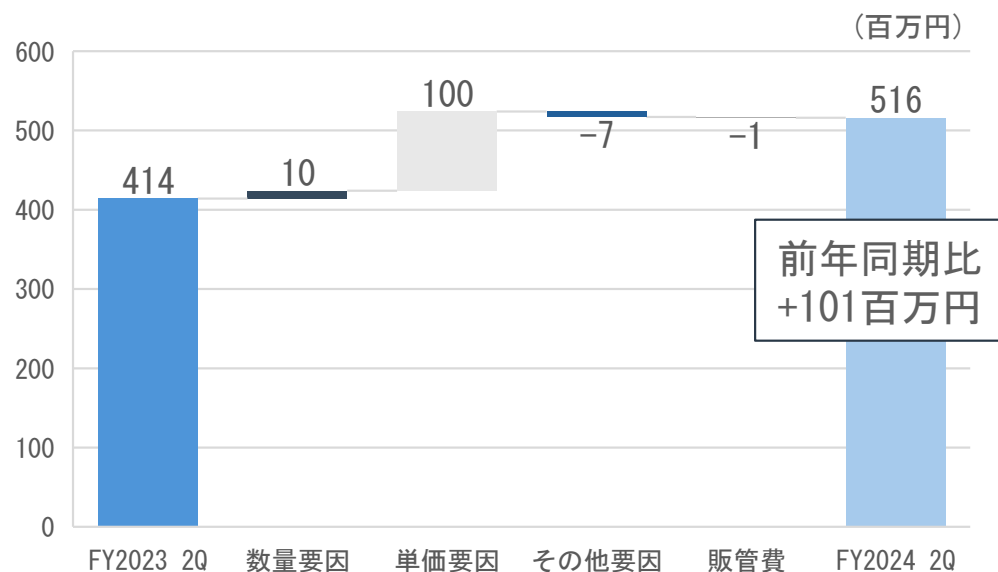
その他 メンテナンス収入が増加 (+)

販管費 風力発電所開発調査の中断に伴う貸倒引当金繰入額計上 (-)

販売費及び一般管理費

人件費・荷造運送費等が増加 (-)

化学品関連事業 経常利益



自社製品として防腐・防かび剤、自動車用ケミカル商品等の製造販売をおこなっている。また、石油系溶剤、粘着付与剤等の卸売販売をおこなっている。



自動車用ケミカル商品

17.7%

数量 洗車薬剤の販売減少 (-)

単価 利幅回復 (+)

防腐・防かび剤

27.3%

数量 前年同期並み

石油系溶剤

32.6%

単価 利幅回復 (+)

粘着付与剤

14.7%

数量 販売数量が増加 (+)

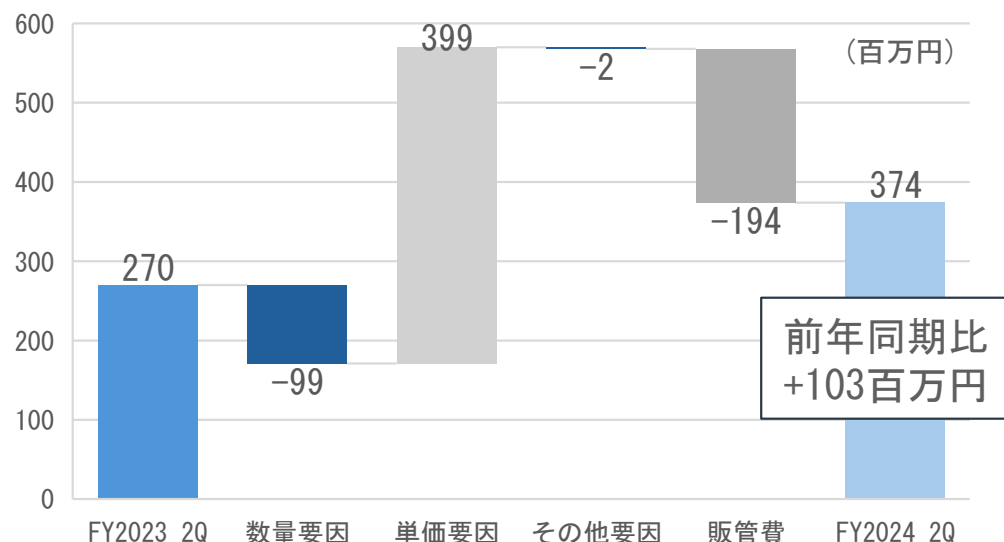
その他（機能化学品他）

7.7%

数量 高級アルコールの販売が増加 (+)

※ 化学品関連事業のみ商品別の説明となっているため、商品区分の横には粗利の割合を表示している。

ガス関連事業 経常利益

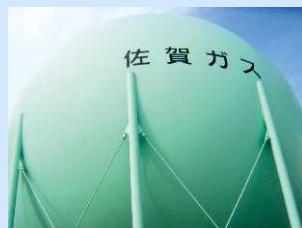


<LPガス販売業>

関東・東海エリア、中国・近畿エリア、九州エリアを中心に家庭用、業務用LPガスの販売およびリフォーム・ガス器具販売等を展開している。2024年9月30日現在 小売顧客軒数123千軒

<天然ガス販売業>

佐賀天然ガスパイプライン等を利用した工場等への供給、佐賀県における一般消費者への都市ガスの供給などをおこなっている。



<LPガス販売業>

252百万円

小売部門

数量 夏場の猛暑で単位消費量が減少(-)

単価 約2千軒の小売営業権を買収で利益面はカバー(+)

卸売部門

数量 海上取引等により増加(+)

単価 在庫評価により利幅回復(+)

<天然ガス販売業>

122百万円

家庭用

数量 夏場の猛暑により消費量減少(-)

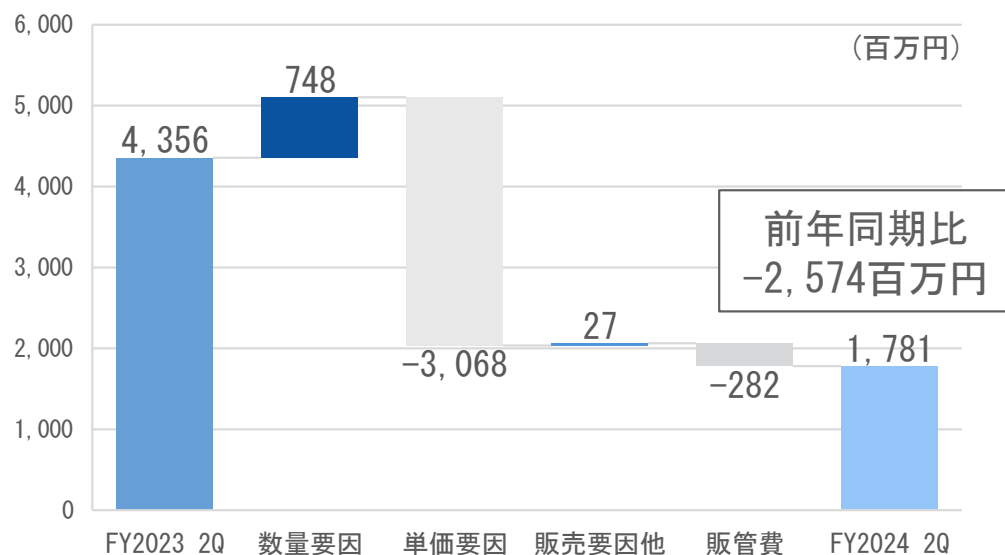
業務用・工業用

数量 工場における需要は微減(-)

<販売費及び一般管理費>

人件費が増加(-)

航空関連事業 経常利益



羽田空港での航空機給油施設の運営および給油業務のほか、北海道から沖縄まで全国27ヶ所で給油業務や給油施設の管理等をおこなっている。



羽田空港

1,443百万円

数量

国内線は悪天候等により微減(-)
国際線は訪日外国人の増加による新規就航や増便により好調(+)

単価

航空燃料取扱手数料の改定により大きく減益(-)

その他空港 (25空港、1ヘリポート)

338百万円

数量

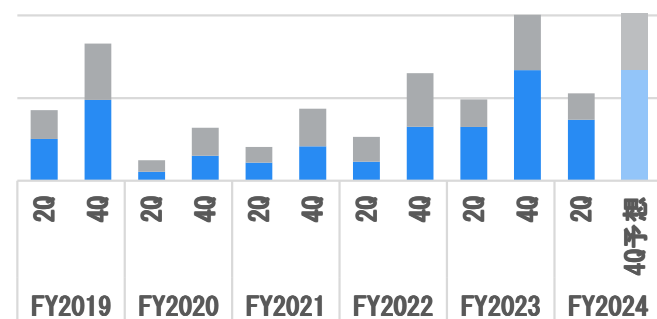
給油数量が好調に推移(+)

販売費及び一般管理費

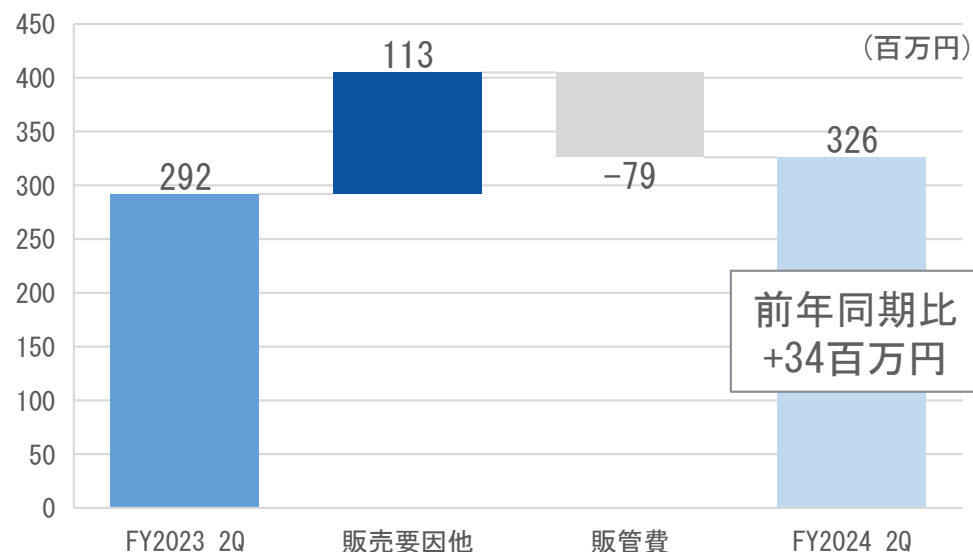
人件費が増加(-)

羽田空港 航空燃料搬出数量推移

■ 国際線 ■ 国内線



その他事業 経常利益



金属製品等の洗浄・表面処理業、建設工事業等をおこなっている。
近年は半導体製造装置の部品洗浄が収益割合が大きくなっている。



金属製品等の洗浄・表面処理業 209百万円

販売他

半導体製造装置の生産回復に遅れ(-)

建設工事業

95百万円

販売他

受注増加により増益(+)

不動産賃貸・ソーラー事業

22百万円

2024年9月25日・26日、福岡県福岡市で開催された「第1回九州半導体産業展」に、当社グループから三愛オブリテック株式会社が出展し、同社技術力のPRをおこないました。



貸借対照表

2023年度末

有利子負債, 4, 473	
現金及び預金, 53, 671	その他負債, 90, 305
その他流動資産, 54, 948	
固定資産, 59, 609	純資産, 123, 829 (自己資本比率53. 9%)
投資その他の資産, 50, 377	

2024年度 第2四半期末

(百万円)

有利子負債, 4, 503	
現金及び預金, 36, 260 (-17, 410)	その他負債, 73, 349 (支払手形及び買掛金 -12, 292)
その他流動資産, 49, 297	
固定資産, 59, 979	純資産, 122, 372 (自己資本比率58. 0%)
投資その他の資産, 54, 687 (差入保証金 +5, 991) (投資有価証券-1, 767)	

【主な差異要因】

- 現金及び預金・差入保証金 買掛金の支払い、現金担保の追加
- 自己株式 取締役会決議により自己株式100万株取得
- 投資有価証券・その他有価証券評価差額金 . . . 投資有価証券の売却

キャッシュ・アロケーションの状況

2024年度 第2四半期末

(百万円)

資金調達		(構成比)
営業に伴う キャッシュ創出 (運転資金を除く)	8,812	(31.0%)
資産売却等	2,193	(7.7%)
手元資金の活用	17,428	(61.3%)

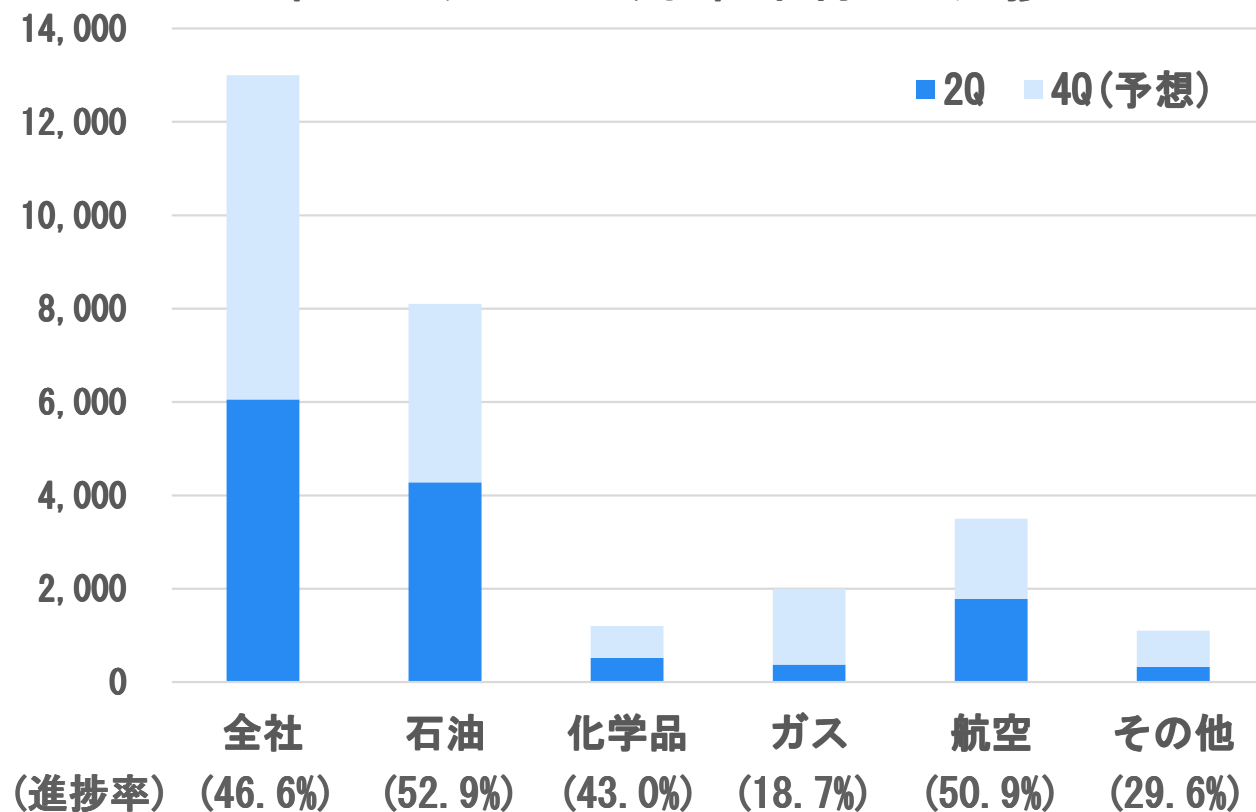
資金活用			(構成比)
設備・事業投資	4, 120		(14. 5%)
配当金支払	3, 215	株主還元 5, 216	(18. 3%)
自己株式取得	2, 000		
運転資金の減少	10, 277		(36. 1%)
営業保証金	5, 889		(20. 7%)
法人税等支払	2, 346		(8. 3%)
その他資金活用	586		(2. 1%)

- ・ 前期末日は金融機関休業日にあたり、前期末の仕入債務の支払いが当期にずれ込んだため、運転資金はマイナスとなっている。
- ・ 営業保証金は取引金額の増加に伴い、仕入先への担保を追加で差し入れている。
- ・ 資産売却等は、主に純投資目的の投資有価証券売却が含まれている。

2. 業績予想と株主還元

業績の進捗と今後の見通し

全社・セグメント別 経常利益の進捗



中期経営計画
2024-2026年度 目標

経常利益

130～150億円

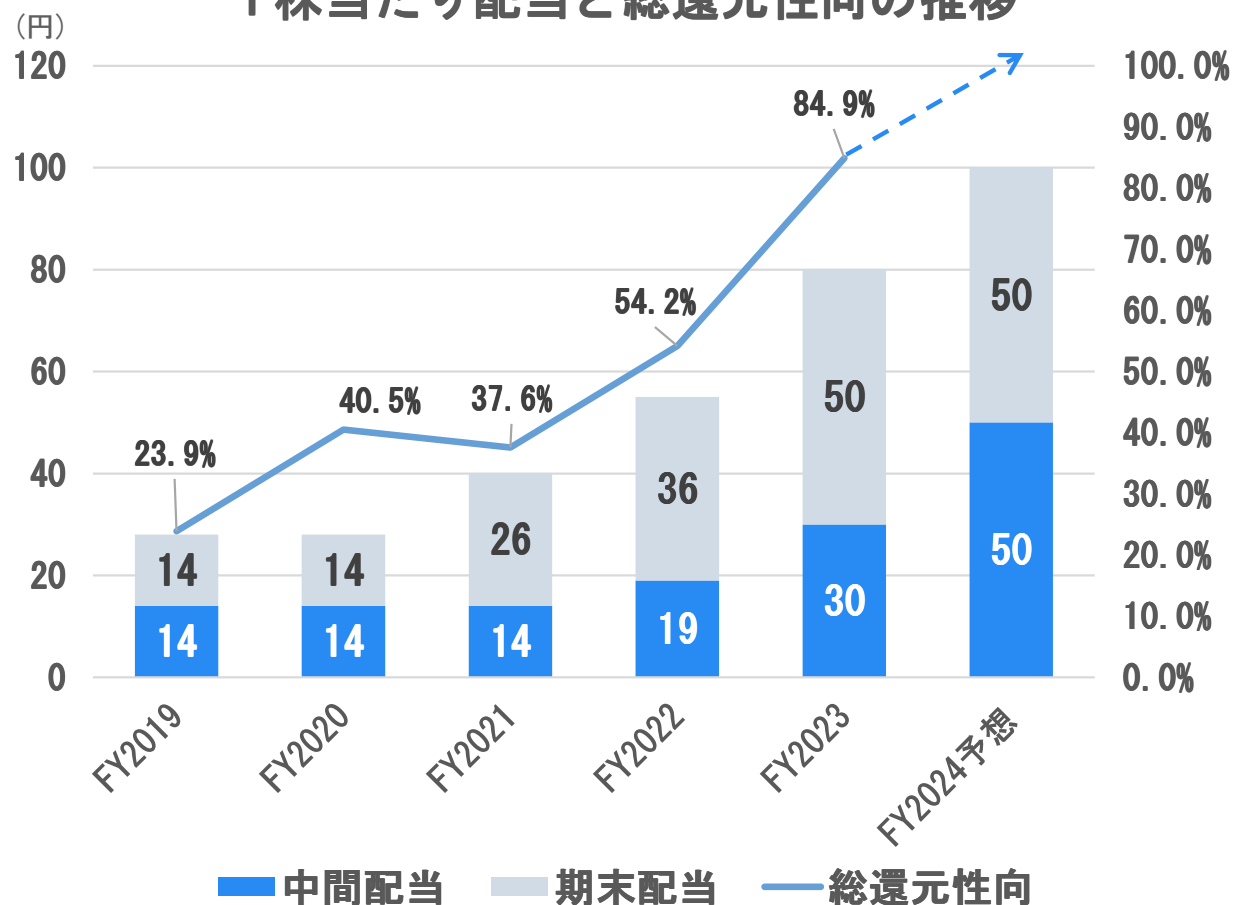
連結ROE

8%以上

- 航空関連事業の単価改定は業績予想に織り込み済み。
- 石油・化学品関連事業は計画通り。
- ガス関連事業は、冬場に需要が偏っており、通期では予想どおりの業績を見込んでいる。
- その他事業の金属製品等の洗浄・表面処理業は、需要を確実に取り込む。

株主還元状況

1株当たり配当と総還元性向の推移



中期経営計画 2024-2026年度 目標

1株当たり年間配当
100円を下限とする

総還元性向
100%を目指す

- 2024年度の株主還元は総額5,165百万円（自己株式取得1,999百万円、中間配当3,166百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益の予想に対する総還元性向は54%となっている。

株価・PBR (株価純資産倍率) の推移



中期経営計画 2030年度 目標

成長戦略・資本政策の実行
と適正な株主還元により
PBR (株価純資産倍率)
1.0倍以上を持続する

3. 本事業年度のトピックス

伊万里ガス株式会社の株式取得

三愛オブリ株式会社は、2024年5月31日佐賀県伊万里市で都市ガスおよびLPガスの販売をおこなう伊万里ガス株式会社の株式を取得しました。

これにより同社は三愛オブリグループの一員に加わりました。

[会社概要（2024年9月30日時点）]

商号	伊万里ガス株式会社
代表取締役	坂本唐市博
設立年月	1964年 7月
資本金	2,500万円
本社 事業内容	佐賀県伊万里市二里町大里 都市ガスの供給及びプロパン の販売、保安業務ガス機器の 販売及びリース、メンテナン ス、住設機器の販売、施工、 受注工事
顧客軒数	都市ガス 4,873軒 LPガス 1,951軒



avatar in株式会社への出資

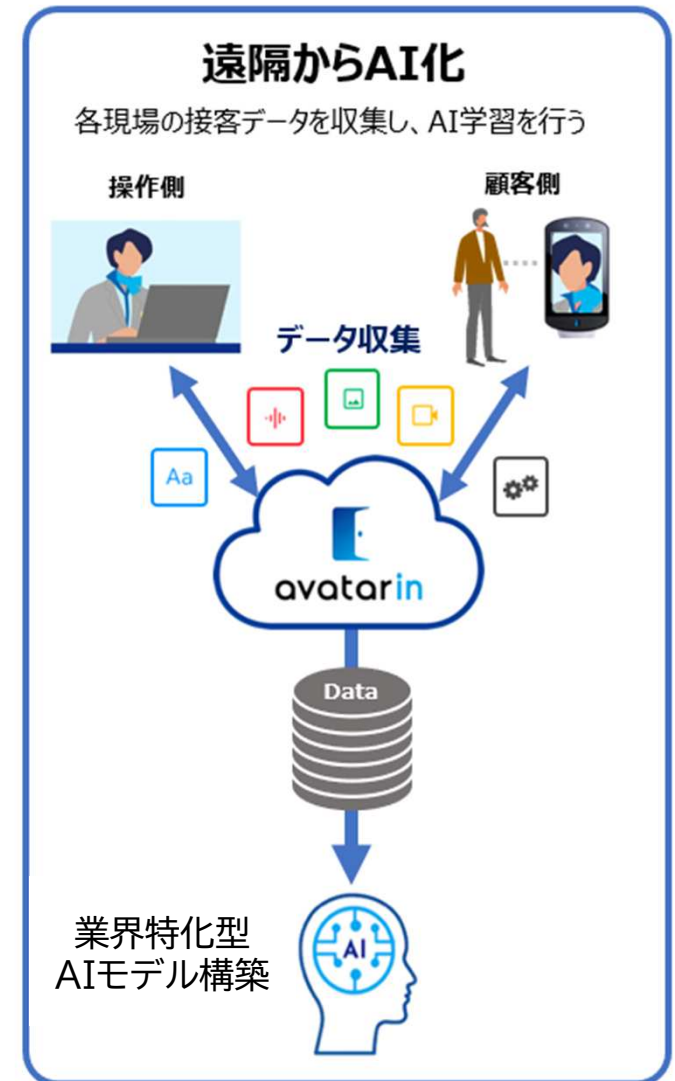
三愛オブリ株式会社は、ANAホールディングス発のスタートアップ企業であるavatar in株式会社への出資を実施しました。

当社では、同社が開発を進めている自立型AIロボットによる接客や安全管理への活用を見据えております。

[会社概要]

商 号
代表取締役
設立年月
本 社
事業内容

avatar in株式会社
深堀 昂
2020年 4月
東京都中央区日本橋室町
ANAホールディングス株式会社
発のスタートアップ企業として、
さまざまな業種のプロフェッショ
ナルが持つスキルをAI化して共有
できる世界共通のプラットフォーム
を構築を目指している。



D X 推進委員会の設立

三愛オブリグループでは、2023年7月に基幹システムの入替えにより、レガシーシステムの刷新を行いました。三愛オブリ株式会社は、2024年7月さらなるD X推進を図るため、専門の委員会を立ち上げ、事業の変革と企業価値の向上に努めてまいります。

